

【証券コード:6728】

決算説明会 (2008年6月期)

2008年8月18日

株式会社 アルバック

1

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ (FPD)・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

■ 急激な変化に対応するアルバックの成長戦略

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

▶ 2008年6月期連結業績概要

▶ 2009年6月期連結業績予想

▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

急激に変化する世界経済

- 世界の製造業と経済
 - ▶ きわめて急激で大幅な変化
 - ▶ 経済の中心が米国から中国へ移行
- 製造業を牽引する分野
 - ▶ 電子デバイスやIT産業から環境・エネルギー・資源・材料へ移行
- 過度な投機、サブプライムローン問題
- 製造業は着実にグローバル化
 - ▶ 中国、インド、ロシアなどで大規模な成長が開始
 - ▶ エネルギーと資源が完全に枯渇し、環境負荷は限界
- アルバックに新しい困難とチャンス

急激な変化に積極的に対応し、今までのやり方を抜本的に改めて、引き続き成長を

高収益の商品を増やす

- 利益が大幅ダウン(08/6期)
 - ▶ 材料高騰、装置価格下落
 - ▶ 懸命なコストダウンをしたが利益確保が困難
 - ◆ 標準化によるリピート生産
 - ◆ グローバルな集中調達
 - ◆ 品質確保による追加原価の削減など
- 装置開発が急務
 - ▶ 装置コンセプトそのもの見直し
 - ▶ コストを抜本的に削減したバージョンアップ
 - ▶ 新規装置の開発
- 新規に開発する装置は高収益を確保
 - ▶ 高収益商品の割合で今後のアルバックの将来が決まる

ポスト太陽電池

■ ポストFPD戦略

- ▶ 世界経済の変化は、ポストFPD戦略の中で織り込み済
- ▶ 太陽電池、中国ビジネスでチャンスが大きく開ける
- ▶ 今後も油断することなく積極的にチャレンジ

■ ポスト太陽電池

- ▶ 資源・材料の分野がクローズアップ
- ▶ 低コストの精錬・精製・リサイクル、省資源、代替材料の技術と商品を開発
- ▶ 中国の次のインド、ロシア、中東でのビジネスを確保するための準備

ターンキーソリューション

- **ターンキー一貫システムソリューション**
 - ▶ **チャンスをさらに生かすため提供する事業にチャレンジ**
- **一貫装置の受注**
 - ▶ **個別装置だけでなく客先商品を生産する一貫装置や工場、材料の供給を丸ごと受注する準備を開始**
- **急成長する地域で成功するビジネスモデル**
 - ▶ **急成長する中国、インド、ロシアなど**
 - ▶ **「ターンキーソリューション」の能力を持つ装置メーカーだけ事業可能**

独創的な技術と商品開発

- 08/6期は増収、減益
 - ▶ 史上最高の受注と売上を確保したが利益は大幅減
 - ▶ 今までの延長線上では利益を出せない
- ▼
- 独創的な技術と商品の開発が決定的に重要
 - アルバックは競合他社に比較して有利
 - ▶ 世界経済の急激な変化の中、有利な立場

チャンスを生かして大きな成長を

■ 急激な変化に対応するアルバックの成長戦略

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

▶ 2008年6月期連結業績概要

▶ 2009年6月期連結業績予想

▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

08/6期のまとめ (事業環境)

- アルバックに直接影響
 - ▶ FPD関係の大型投資の復活
 - ▶ 半導体関係の設備投資が急減
- 世界経済の動向
 - ▶ サブプライムローン問題とドル安

原油や鉱物資源、食料の値上がり、工業製品デフレの進行

世界経済がスタグフレーションの兆候

原油高と世界的なCO₂排出量削減の動き。

好機到来

- ・太陽電池用装置などのエネルギー・環境ビジネス
- ・ターゲット材料のリサイクルなどCSビジネス

08/6期のまとめ(業績)

■ 受注高

- ▶ FPD関連の大型受注で2Qから回復、下期は過去最高
- ▶ 太陽電池一貫ライン(9ライン受注)

■ 売上高

- ▶ 連結予想値を大幅に下回る

■ 業績

- ▶ 営業利益、経常利益など大幅未達

◆ 収益性の悪化要因

(ターゲット材料ビジネスが大幅減益、真空炉など標準化が遅れ
追加原価増加、真空ポンプ競争激化でコストダウン追いつかず 等)

■ ハイライト

- ▶ 太陽電池一貫ライン(NexPower社)で生産開始
高い評価を受ける
- ▶ 「開発 標準化 市場投入」の地道なものが定着

08/6期業績

【単位:億円】

	05/6期	06/6期	07/6期	08/6期	
				見通し修正 (5/15)	実績
受注高	2,062 (+16%)	2,360 (+14%)	2,368 (+0%)	2,850 (+20%)	2,931 (+24%)
売上高	1,968 (+25%)	2,125 (+8%)	2,392 (+13%)	2,510 (+5%)	2,412 (+1%)
営業利益	153 (+81%)	148 (-3%)	166 (+12%)	72 (-57%)	91 (-45%)
営業利益率	7.8%	7.0%	7.0%	2.9%	3.8%
経常利益	124 (+71%)	148 (+19%)	161 (+9%)	50 (-69%)	51 (-69%)
経常利益率	6.3%	7.0%	6.7%	2.0%	2.1%
当期純利益	71 (+81%)	81 (+13%)	73 (-10%)	31 (-58%)	36 (-51%)

【 ()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別売上高の実績

【単位:億円】

品目		07/6期	08/6期		
			見通し修正 (5/15)	実績	見通し修正後の 主な変動要因
真空 関連 事業	ディスプレイ及び 電子部品製造装置	1,206	1,349	1,272	液晶関連の据付工事等 の期ズレ
	半導体製造装置	382	317	320	ほぼ予想通り
	コンポーネント	271	238	230	ほぼ予想通り
	その他	207	196	182	一般産業機器関連の 納入や据付など期ズレ
その他の事業		325	410	408	ほぼ予想通り
合計		2,392	2,510	2,412	

注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

連結貸借対照表(資産の部)

【単位:億円】

	07/6期	08/6期	増 減
流動資産	2,079	1,866	213
固定資産	1,097	1,165	68
有形固定資産	818	938	120
無形固定資産	38	38	0
投資その他の資産	241	189	52
資産合計	3,176	3,031	145

資産の部: 145億円減

流動資産: 213億円減

◆受取手形、売掛金 112億円減(売上高の減少による)

固定資産: 68億円増

◆有形固定資産 120億円増

(事業拡大のための設備投資を実施。

当社茅ヶ崎本社工場、太陽電池実証ライン、研究開発設備など)

◆投資その他の資産 52億円減

(新規連結による減少)

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

連結貸借対照表(負債・純資産の部)

[単位: 億円]

	07/6期	08/6期	増 減
(負債の部)			
流動負債	1,695	1,508	187
固定負債	537	604	67
負債合計	2,232	2,112	120
(純資産の部)			
純資産合計	944	919	25
負債純資産合計	3,176	3,031	145

負債の部 : 120 億円減

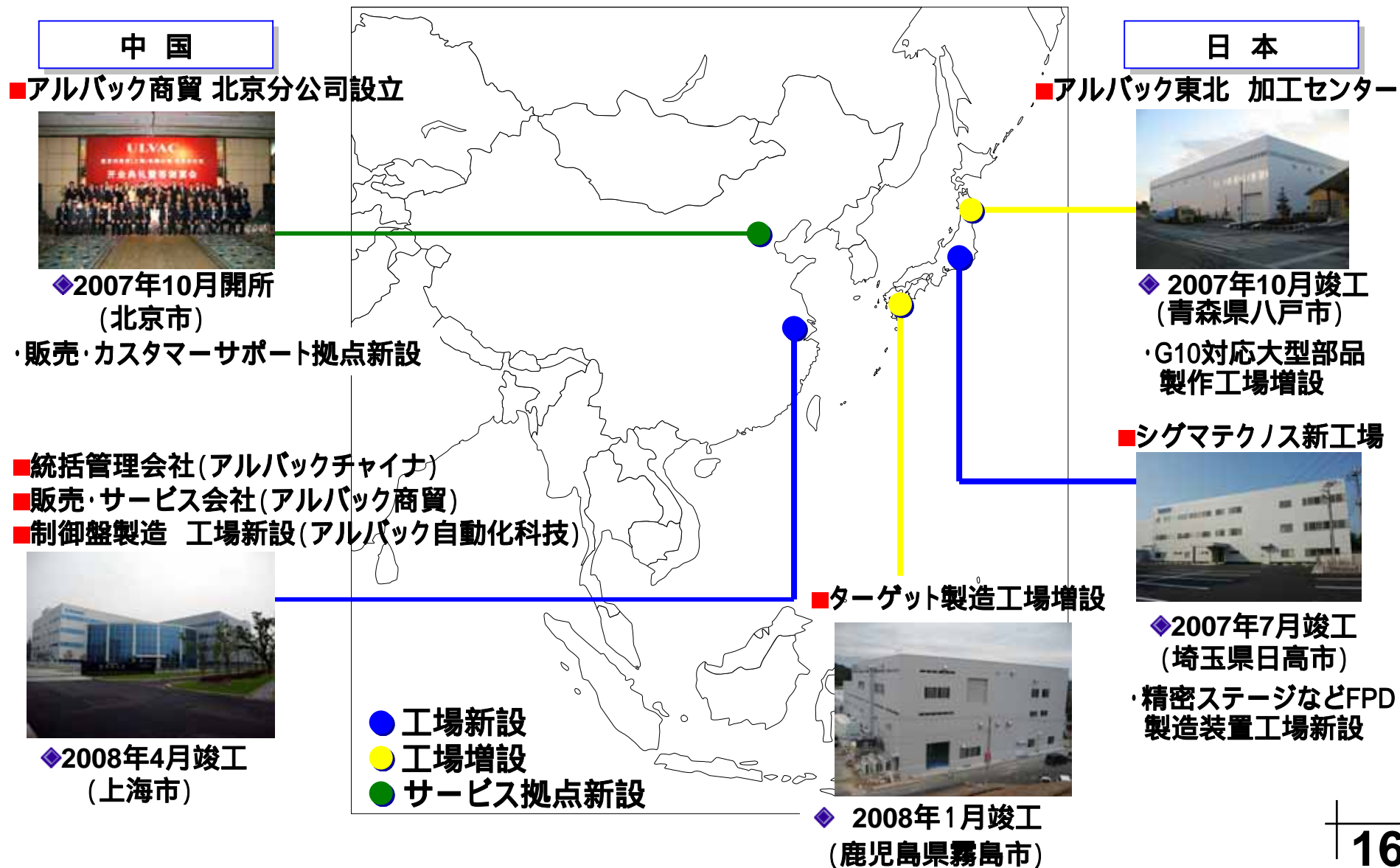
- ◆支払手形及び買掛金 82億円減(たな卸資産減少による)

純資産の部: 25 億円減

- ◆当期純利益 36億円計上
- ◆配当金 20億円支払い
- ◆評価・換算差額等 36億円減

[記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。]

主な新設工場、新拠点の設立



■ 急激な変化に対応するアルバックの成長戦略

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

▶ 2008年6月期連結業績概要

▶ **2009年6月期連結業績予想**

▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

事業環境

■ ポジティブ要因

- ▶ 液晶ディスプレイなどFPD関連の売上増
- ▶ 太陽電池やエネルギー・環境関連の設備投資活発化
 - ◆ 薄膜太陽電池一貫ラインの引き合い、受注急拡大
 - ◆ 薄膜太陽電池以外の化合物系、結晶系の事業拡大の可能性
 - ◆ LED、希土類磁石向け設備の受注拡大

■ ネガティブ要因

- ▶ メモリなど半導体分野は厳しい状況が継続
- ▶ 液晶ディスプレイの受注は一巡、安定成長へ
 - ◆ 中小型パネルラインで生産調整、納入延期の動き
- ▶ 継続的な価格プレッシャー

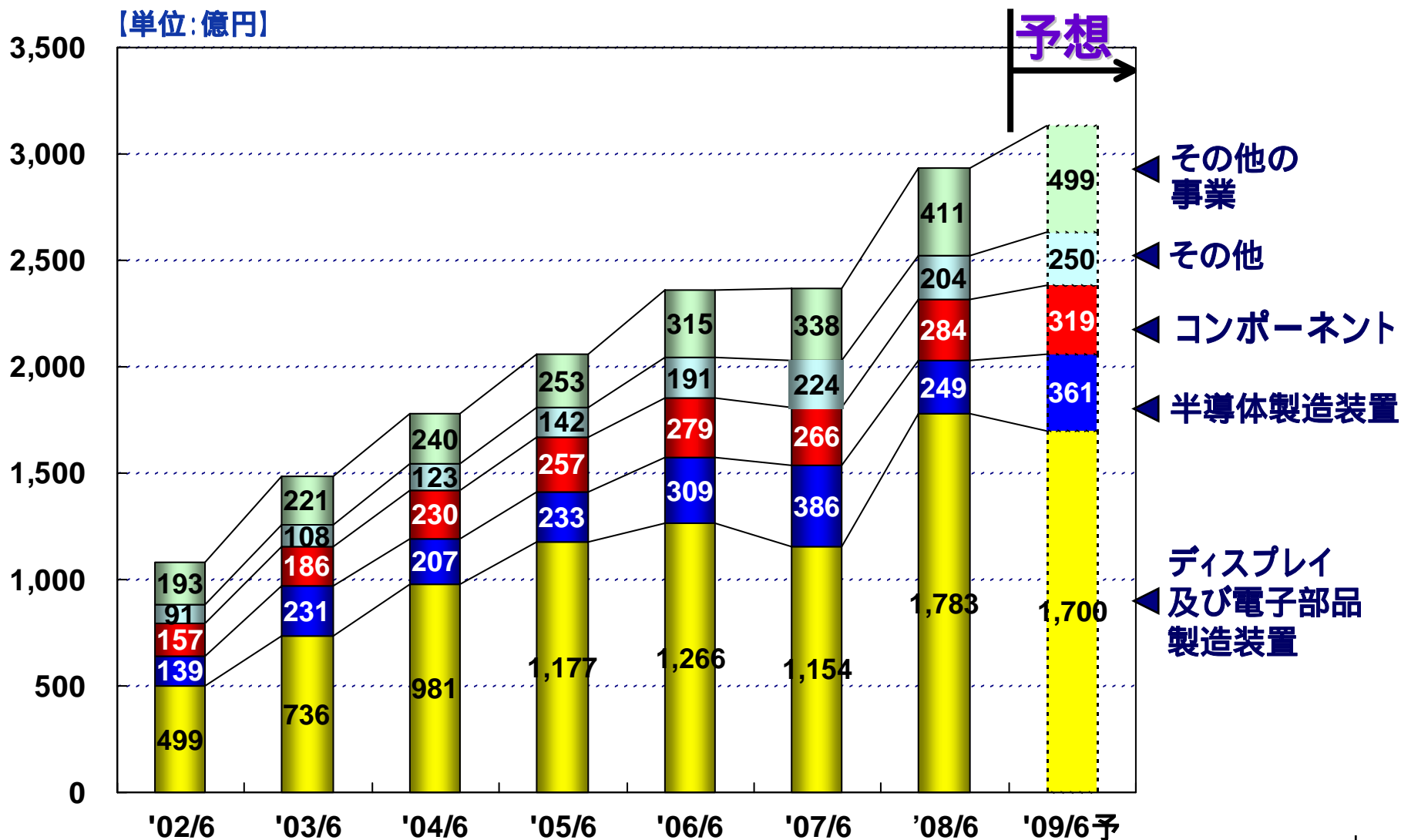
09/6期予想

【単位:億円】

	06/6期	07/6期	08/6期	09/6期予	
				第2四半期	通期
受注高	2,360 (+14%)	2,368 (+0%)	2,931 (+24%)	1,630 (+40%)	3,130 (+7%)
売上高	2,125 (+8%)	2,392 (+13%)	2,412 (+1%)	1,360 (+17%)	3,000 (+24%)
営業利益	148 (-3%)	166 (+12%)	91 (-45%)	39 (+6%)	150 (+65%)
営業利益率	7.0%	7.0%	3.8%	2.9%	5.0%
経常利益	148 (+19%)	161 (+9%)	51 (-69%)	28 (+19%)	120 (+137%)
経常利益率	7.0%	6.7%	2.1%	2.1%	4.0%
当期純利益	81 (+13%)	73 (-10%)	36 (-51%)	9 (-61%)	74 (+105%)

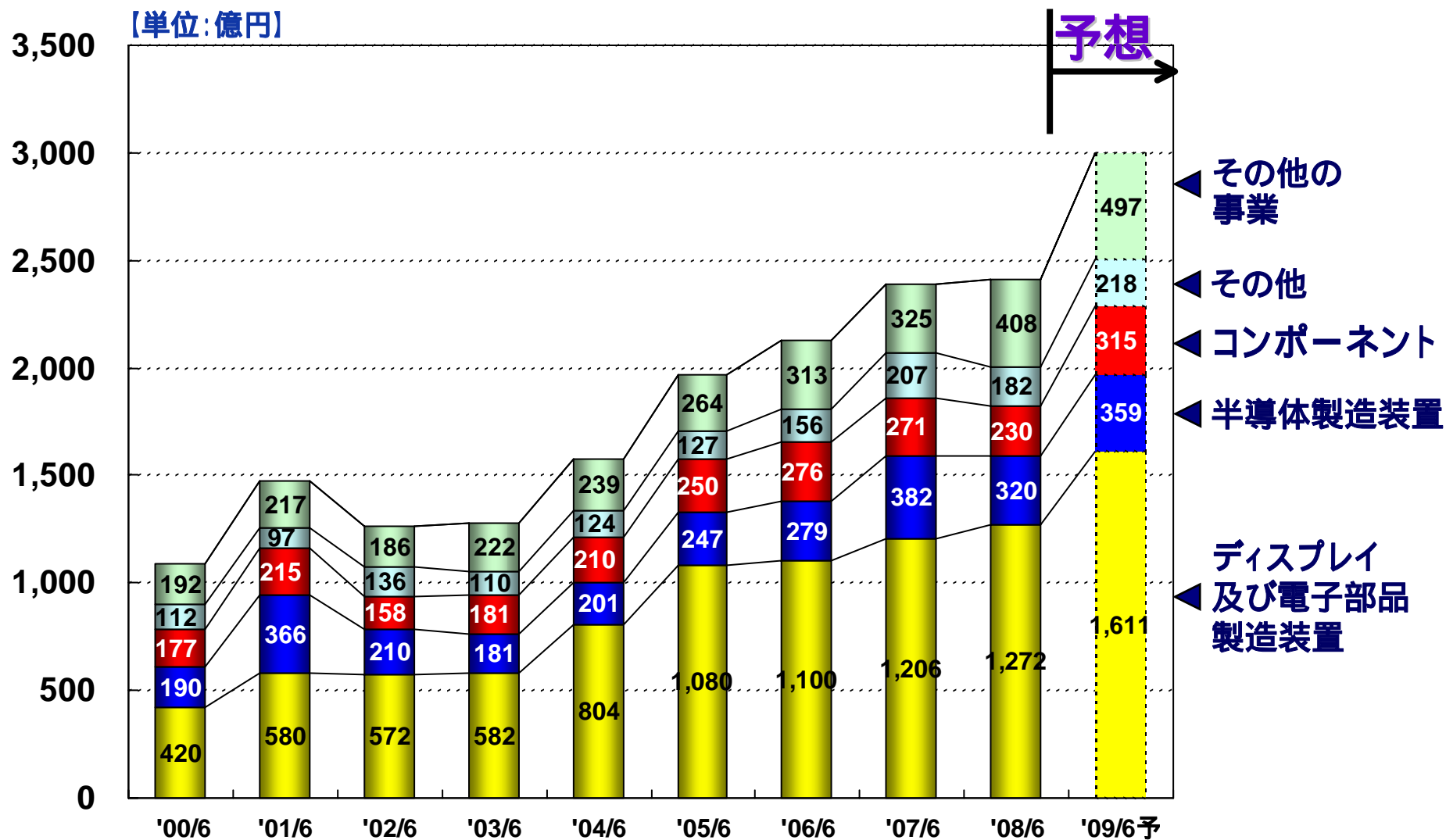
【()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別受注高実績・予想



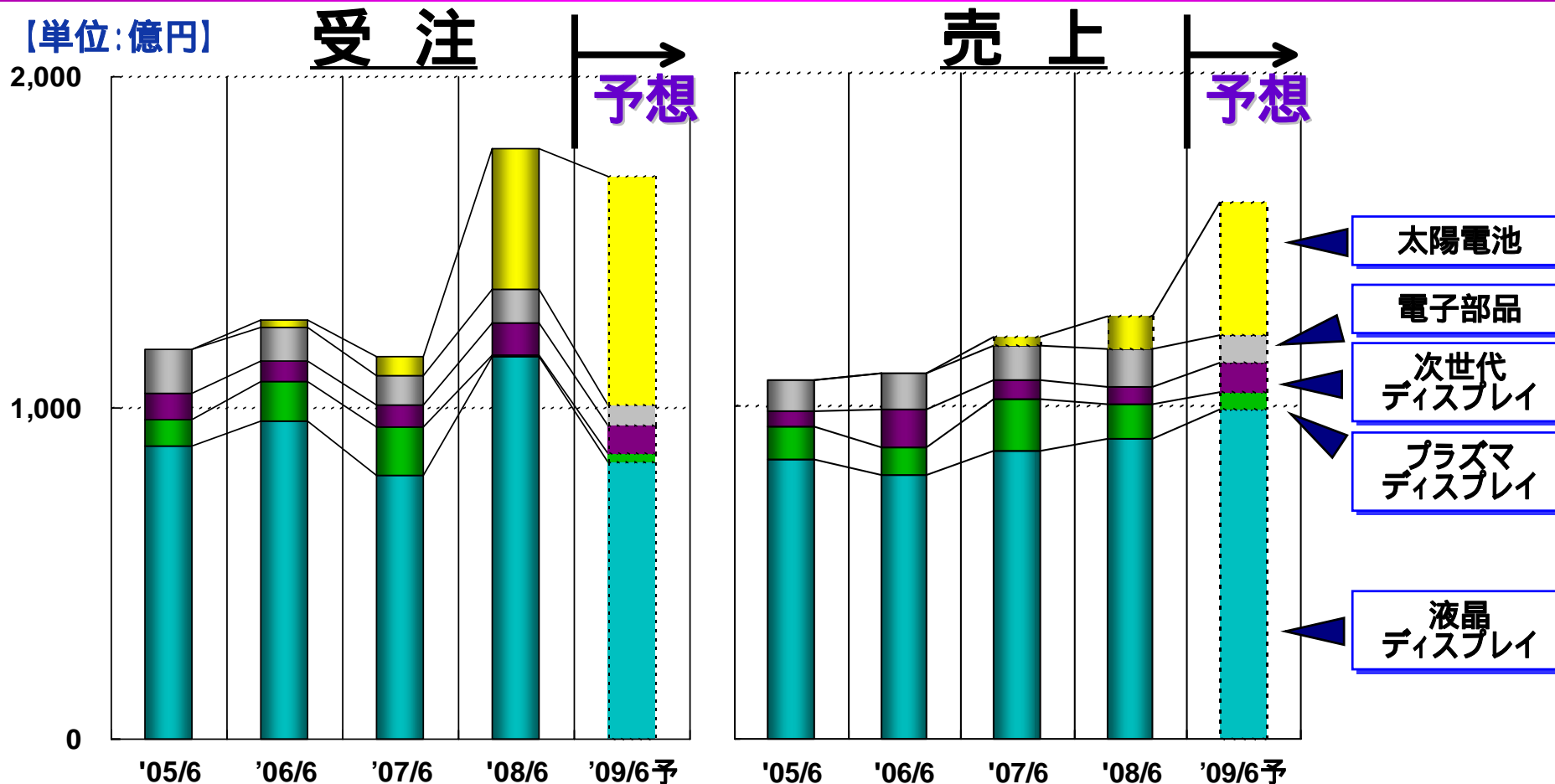
【小数点以下は四捨五入】

品目別売上高実績・予想



【小数点以下は四捨五入】

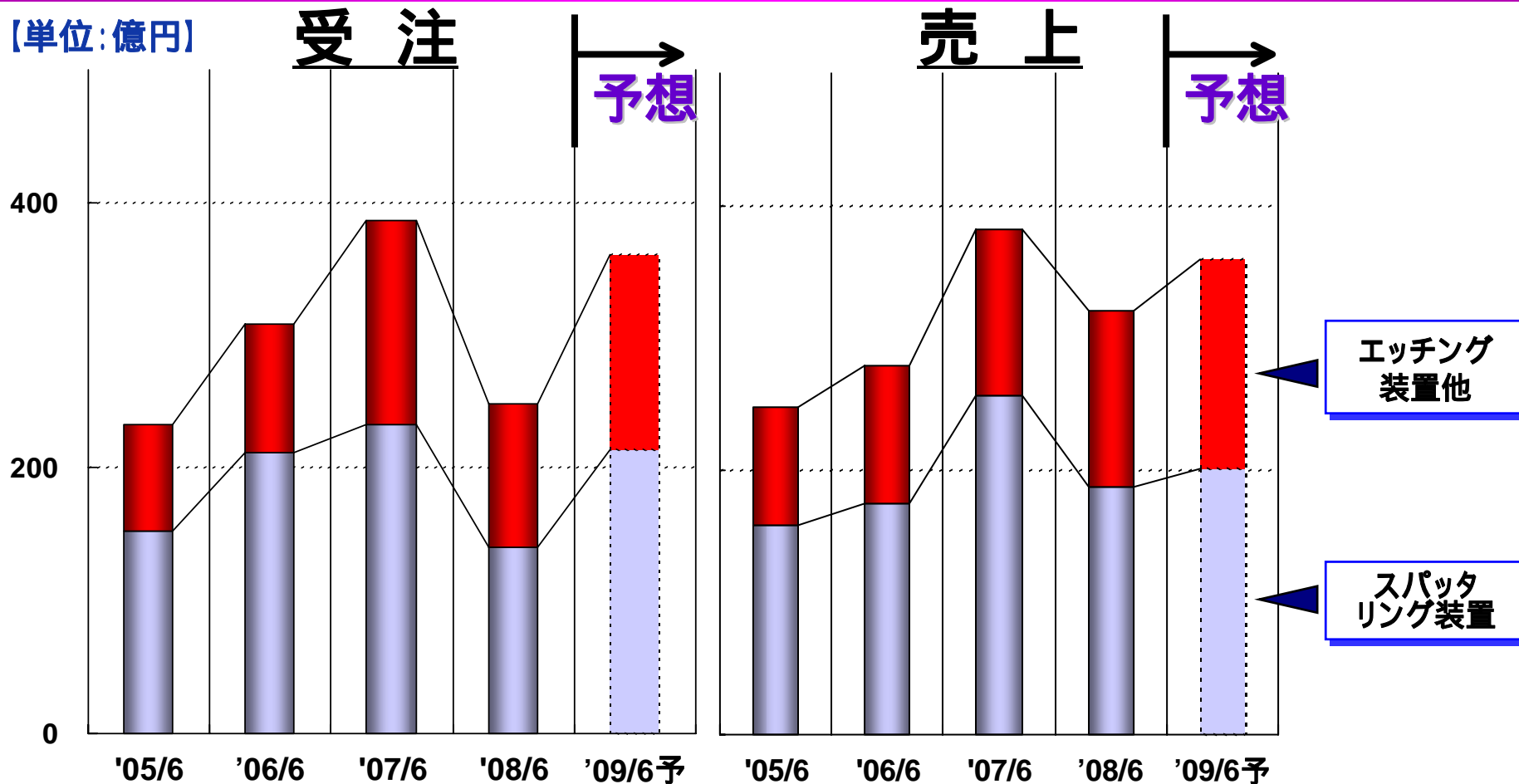
ディスプレイ及び電子部品製造装置の推移・予想



足元の受注環境

- ◆韓国、台湾の液晶ディスプレイの設備投資は一服。
- ◆太陽電池は、薄膜太陽電池一貫ラインを中心に大幅受注増を見込む。
- ◆プラズマは縮小傾向、有機ELなど次世代ディスプレイの伸びが鈍化。

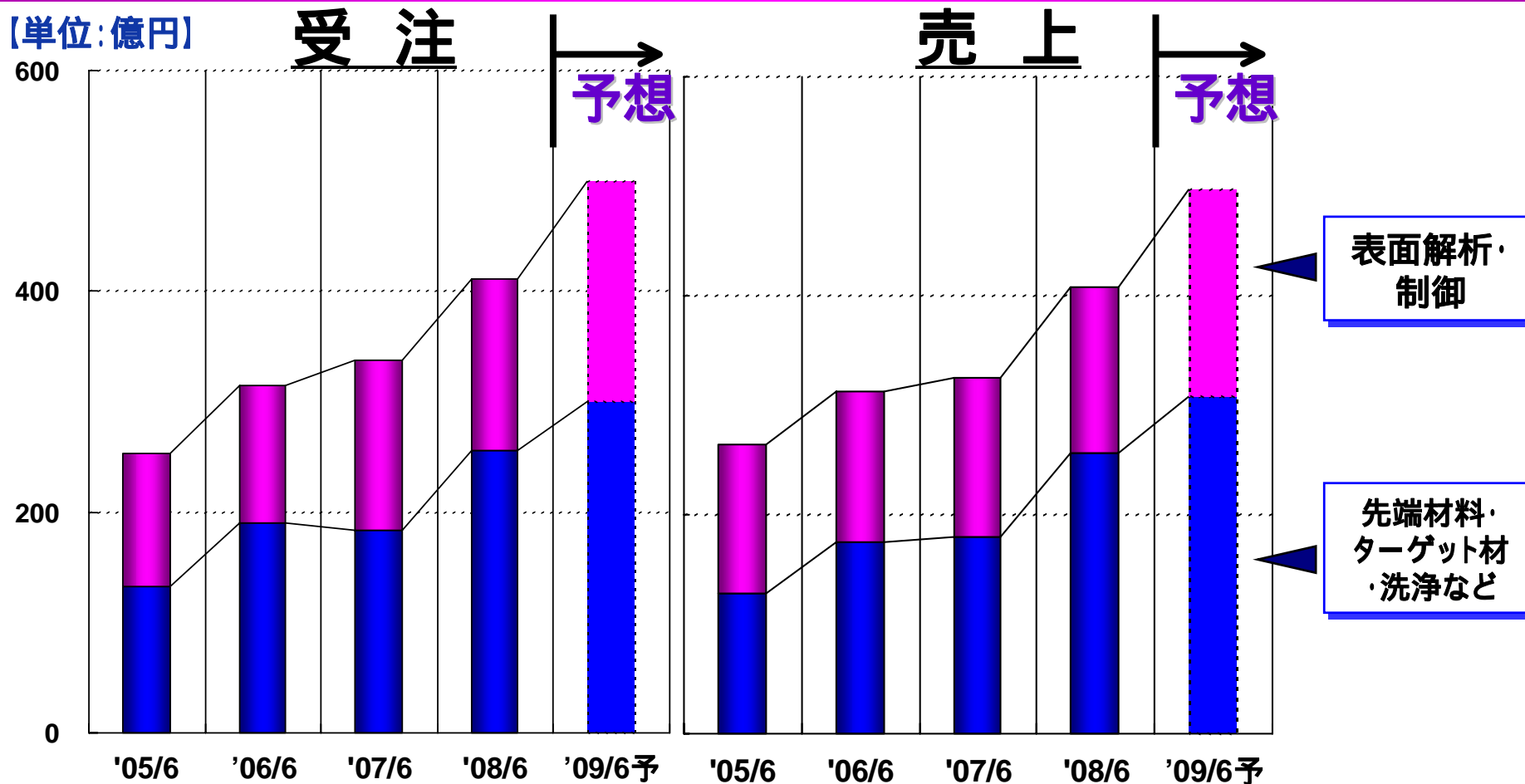
半導体製造装置の推移・予想



足元の受注環境

- ◆DRAM、フラッシュメモリ関連の設備投資延期は継続。一部回復を見込む。
- ◆ハイブリッド・カー関連のパワー半導体、LEDなどの設備投資が堅調

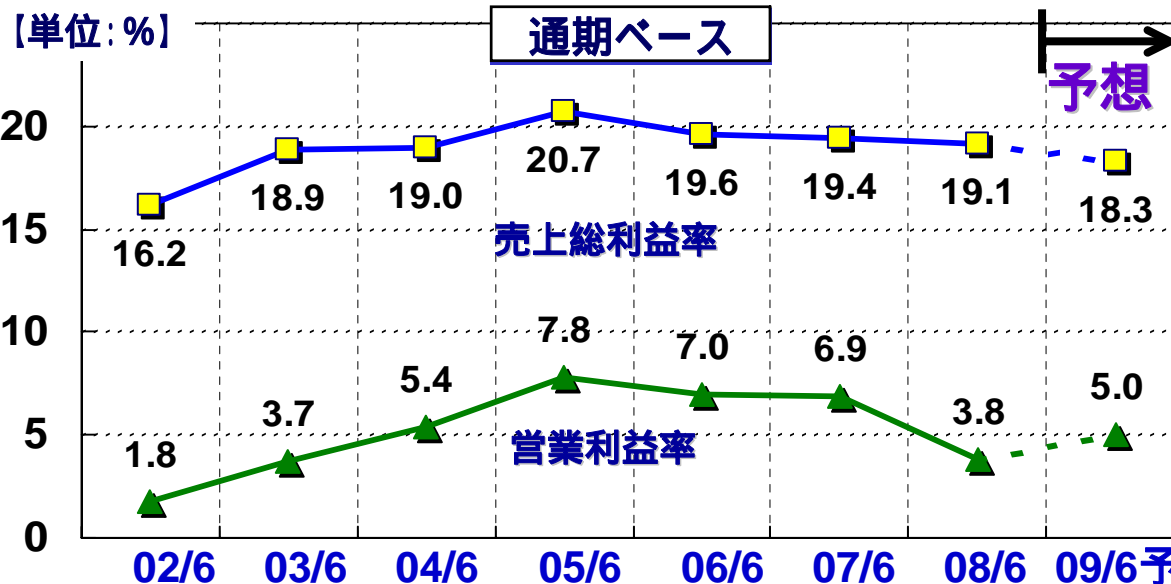
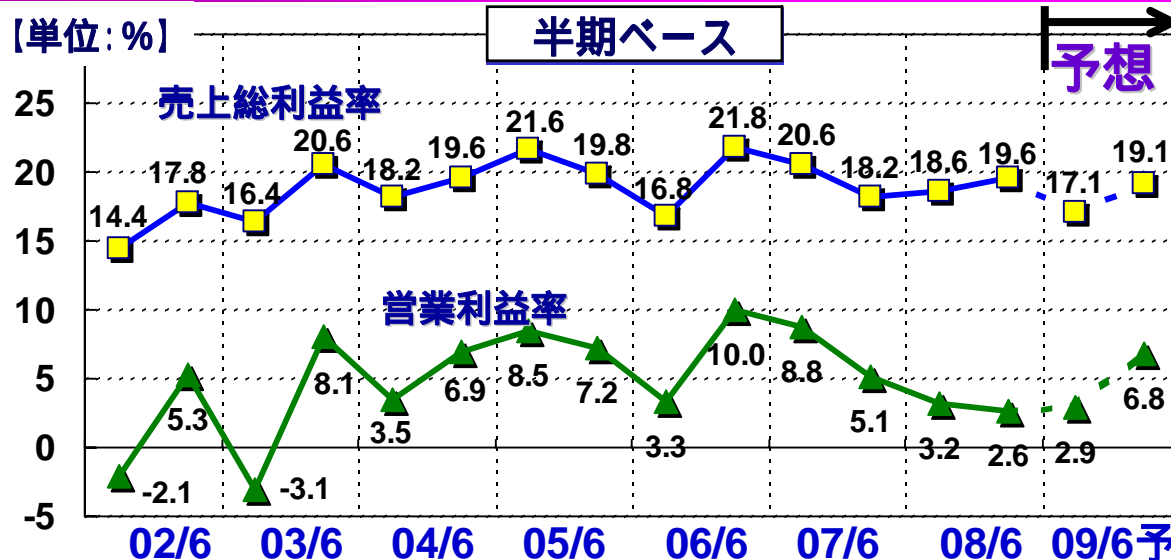
その他の事業の推移・予想



足元の受注環境

◆FPD製造装置の大型化によりターゲット材などの受注・売上が大幅に増加する見込み

利益率の推移・予想



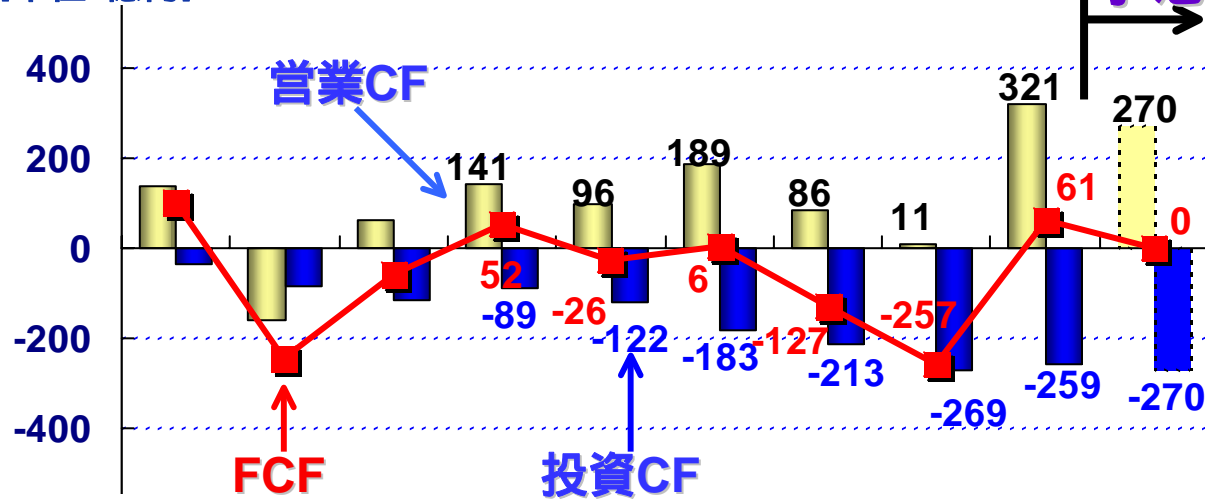
09/6期予想

- ▶ **上期**
 - ・半導体は期首受注残が少なく売上減少。利益率低下。
 - ・FPD製造装置など売上減少で利益率低下。
- ▶ **下期**
 - ・G8の売上が増加し量産効果とコストダウンで利益率向上。
 - ・太陽電池一貫ライン売上増で利益率向上。
- ▶ **通期**
 - ・生産改革(内製化、標準化など)の推進で収益力アップ
 - ・固定費のスリム化で利益率向上

【小数点以下第2位は四捨五入】

キャッシュ・フローと有利子負債の状況(実績・予想)

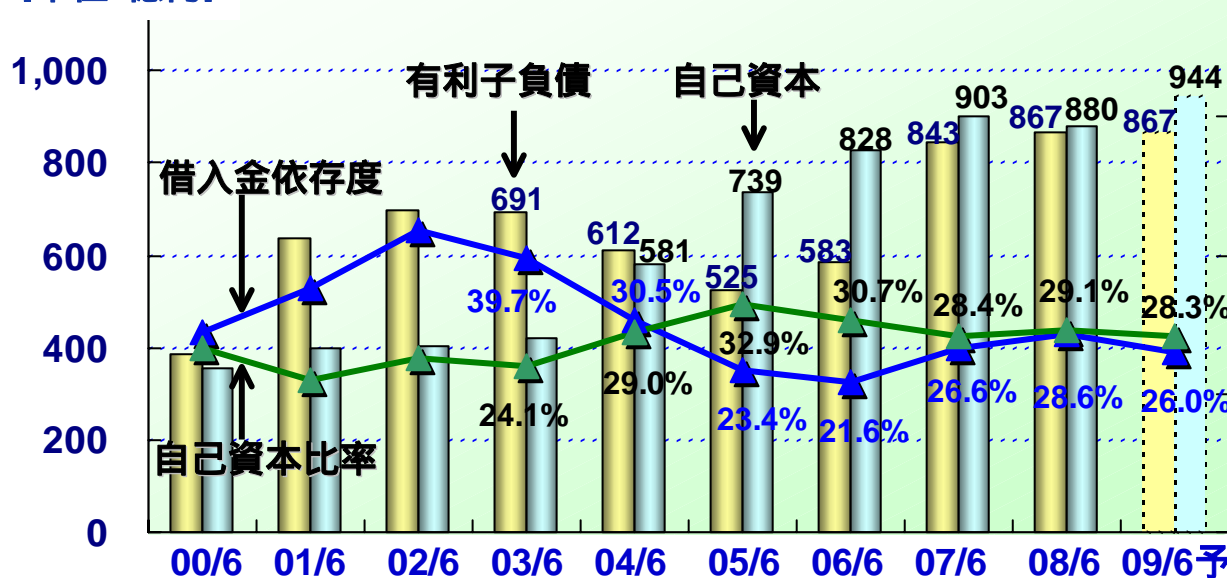
[単位:億円]



営業CF: 270億円

- ▶ 資金効率の向上
- ◆ たな卸資産の増加抑制
- ◆ 売掛債権の回収促進
- ◆ 前受金の確保

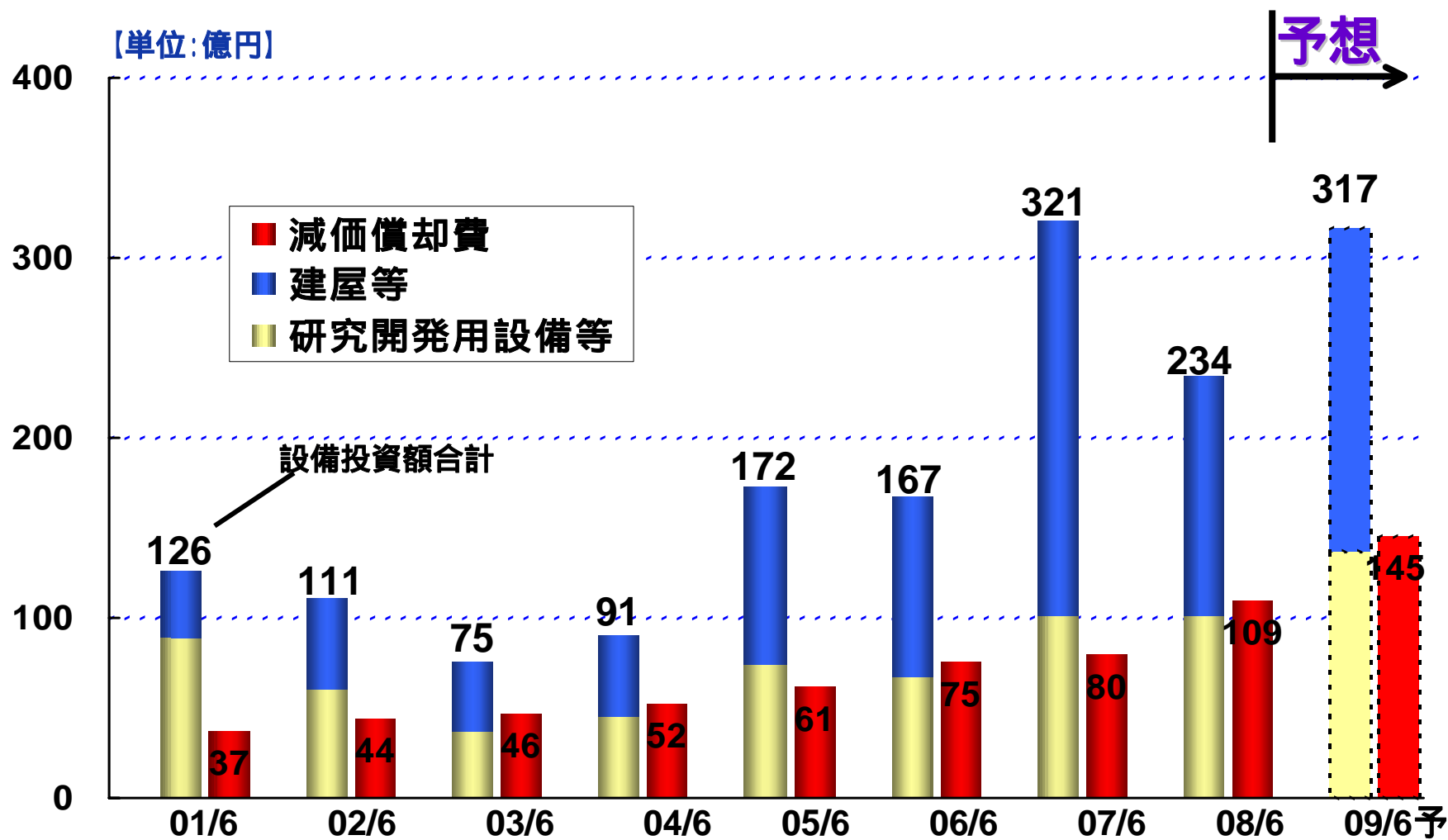
[単位:億円]



投資CF: 270億円

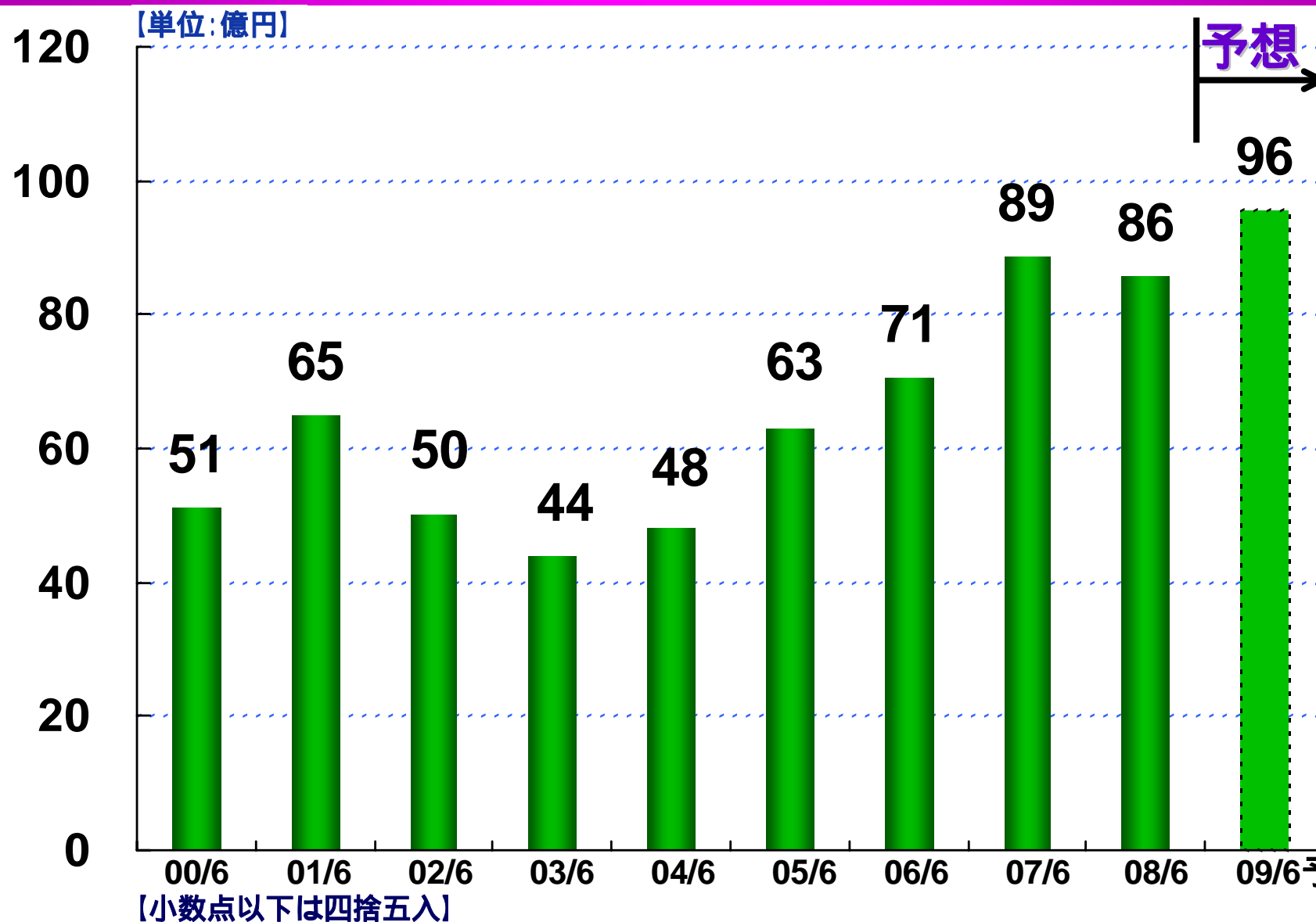
- ▶ 成長戦略投資を実施
- ◆ 研究開発投資

設備投資、減価償却費の推移

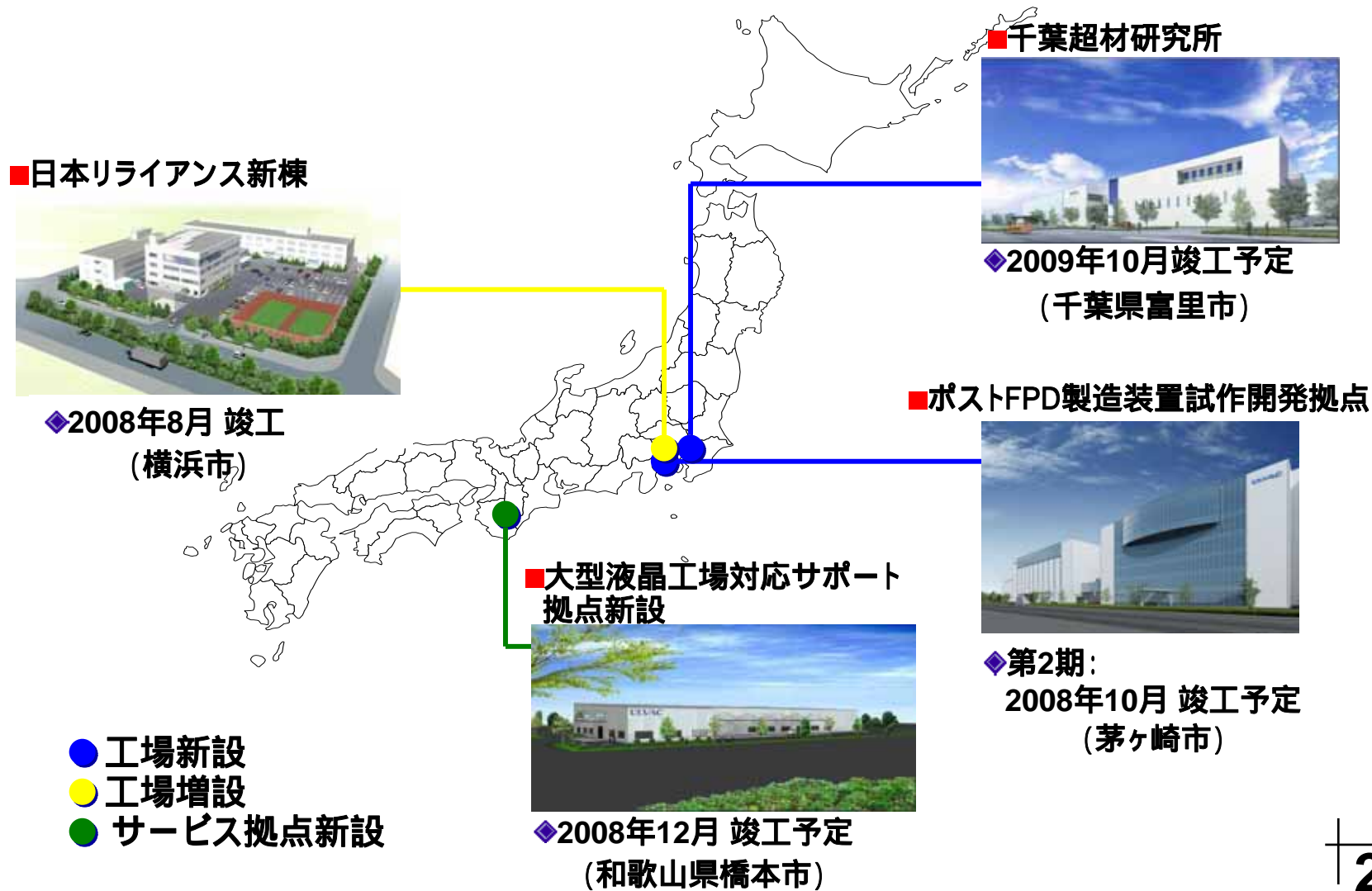


【小数点以下は四捨五入】

研究開発費の推移



今後の主な新設工場、新拠点



09/6期 業績予想(まとめ)

- 太陽電池が他を補完し受注は増加

3,130億円(+7%)

- 液晶ディスプレイ関連の受注残が
寄与し売上が大幅増

3,000億円(+24%)

- 太陽電池の売上寄与が少、半導体の売上鈍化
などがあり、利益率は回復途中

営業利益率 5.0%

■ 急激な変化に対応するアルバックの成長戦略

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

▶ 2008年6月期連結業績概要

▶ 2009年6月期連結業績予想

▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

09/6期重点施策(1)

- 太陽電池用装置ビジネスを大きな柱にする
 - ▶ 温暖化対策として再生可能エネルギーのニーズ高まり、大幅な受注増
 - ▶ 薄膜Si太陽電池一貫ライン

- ◆ デバイス性能、生産量の保証、完全標準化装置の提案型商品、従来と異なった生産形態(計画生産)

新たなビジネスモデル
・もの作り

- 利益率のアップの為の体質改善
 - ▶ 09/6期は再び上昇軌道に乗せる転換の年度
 - ◆ 一般産業機器などの特型(オーダーメイド)依存から脱却
 - ◆ 高利益率が確保できる競争力のある商品を急ピッチで開発(特に「その他の事業」で)
 - ◆ 固定費のスリム化

09/6期重点施策(2)

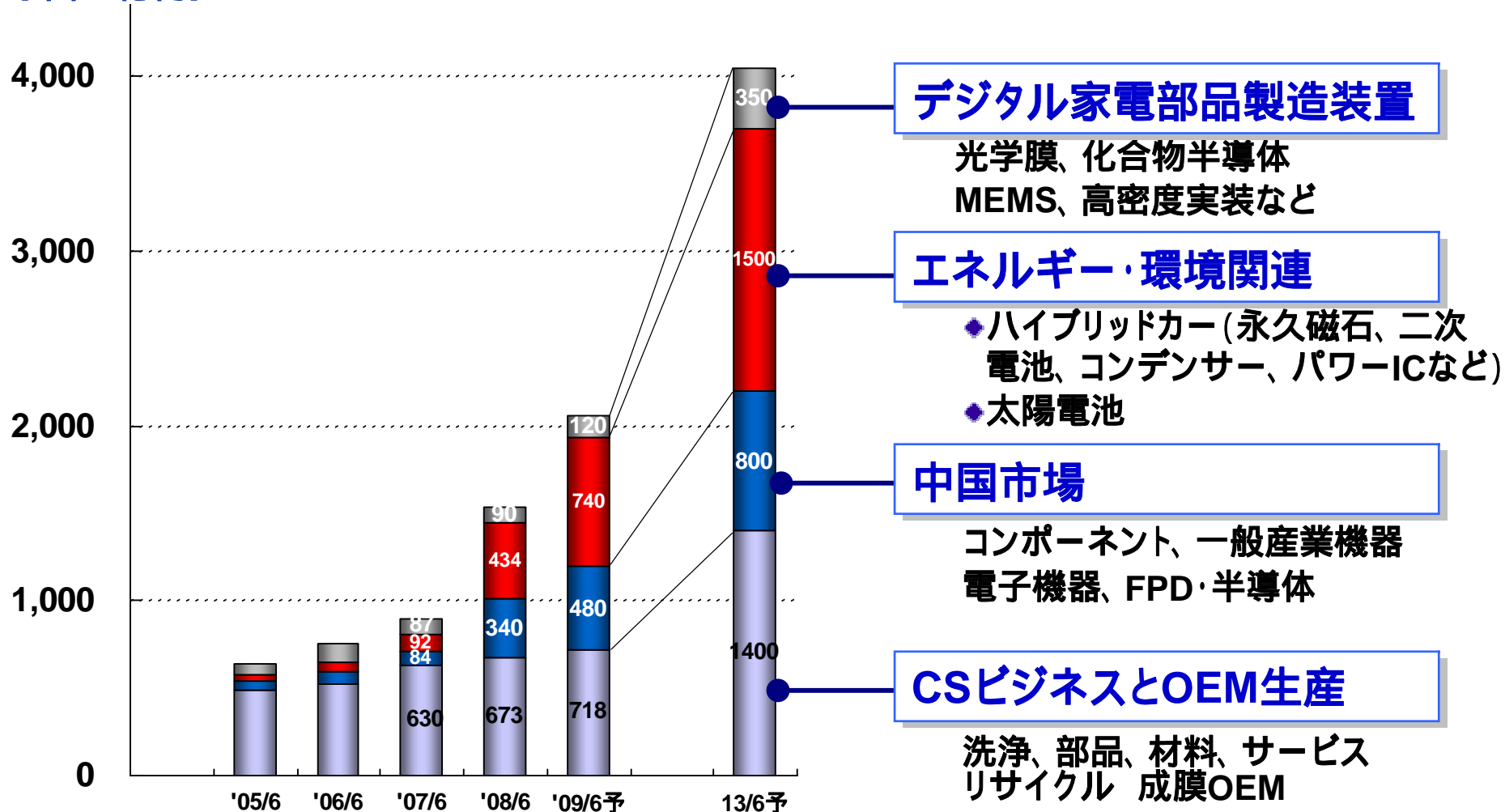
- **グループ各社の構造改革**
 - ▶ **グループとしての構造改革実施**
 - ◆ 開発効率とカスタマーサポート体制向上のため
アルバックマテリアルの事業を再構築(08年10月から)
 - ◆ 経営効率アップのため、台湾の製造子会社
と販売会社の合併(09年1月から)
 - ▶ **各社ごとに新商品開発、新市場開拓に注力**
- **フリー・キャッシュフローの黒字化**
 - ▶ **運転資金の圧縮**
 - ▶ **研究開発投資は設備売却と一体管理**
 - ▶ **売掛金手持月数、たな卸し手持ち月数の目標値を
設定、管理。**

中長期の事業戦略

- FPDの設備投資の成長は鈍化。
ポストFPD戦略を強力に推進し、受注4000億円を目指す。
- 特に、太陽電池用装置などのエネルギー・環境
ビジネスやターゲット材料のリサイクルなど
CSビジネスに注力する。

ポストFPD戦略(受注目標)

【単位:億円】



【上記の各項目の目標受注額は一部重複して合算されています。また、目標受注額は事業規模を判断するための参考値で、当社の連結受注額に合算されない額も含まれています。】

事業戦略まとめ

■ 今期(09/6期)

- ▶ 太陽電池用装置ビジネスを大きな柱に育成
- ▶ 利益率を増加軌道に乗せる体質改善の年度
- ▶ 持続的成長の為にフリーキャッシュ・フローの黒字化と積極的投資の維持

■ 中長期

- ▶ ポストFPD戦略の強力な推進で4,000億円をクリア

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

本日は
ありがとうございました

会社概要

■ 事業内容

▶ 真空関連事業

- ディスプレイ及び電子部品製造装置：FPD（液晶、有機EL、PDP等）、太陽電池、電子部品
- 半導体製造装置：メモリー、化合物半導体等の半導体製造装置
- コンポーネント：真空ポンプ、計測器、電源などの真空機器
- その他：真空熱処理炉など一般産業機器

▶ その他の事業

先端材料、表面解析装置、装置制御

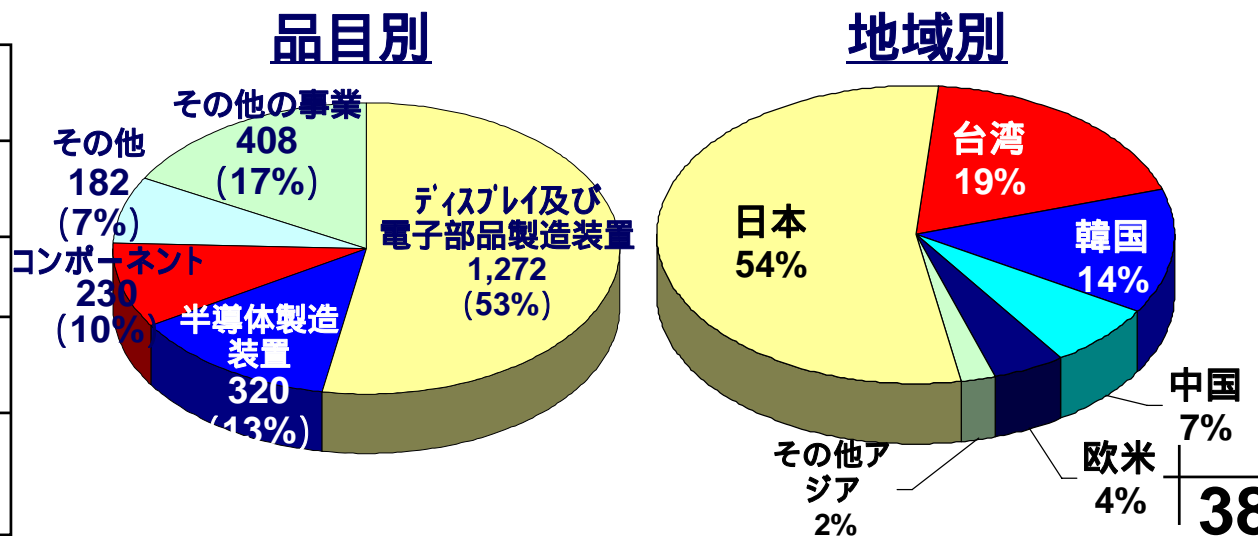
：スパッタターゲット材、ナノテク関連分析装置、制御システムなど

■ 08/6期実績(連結)

【単位：億円】

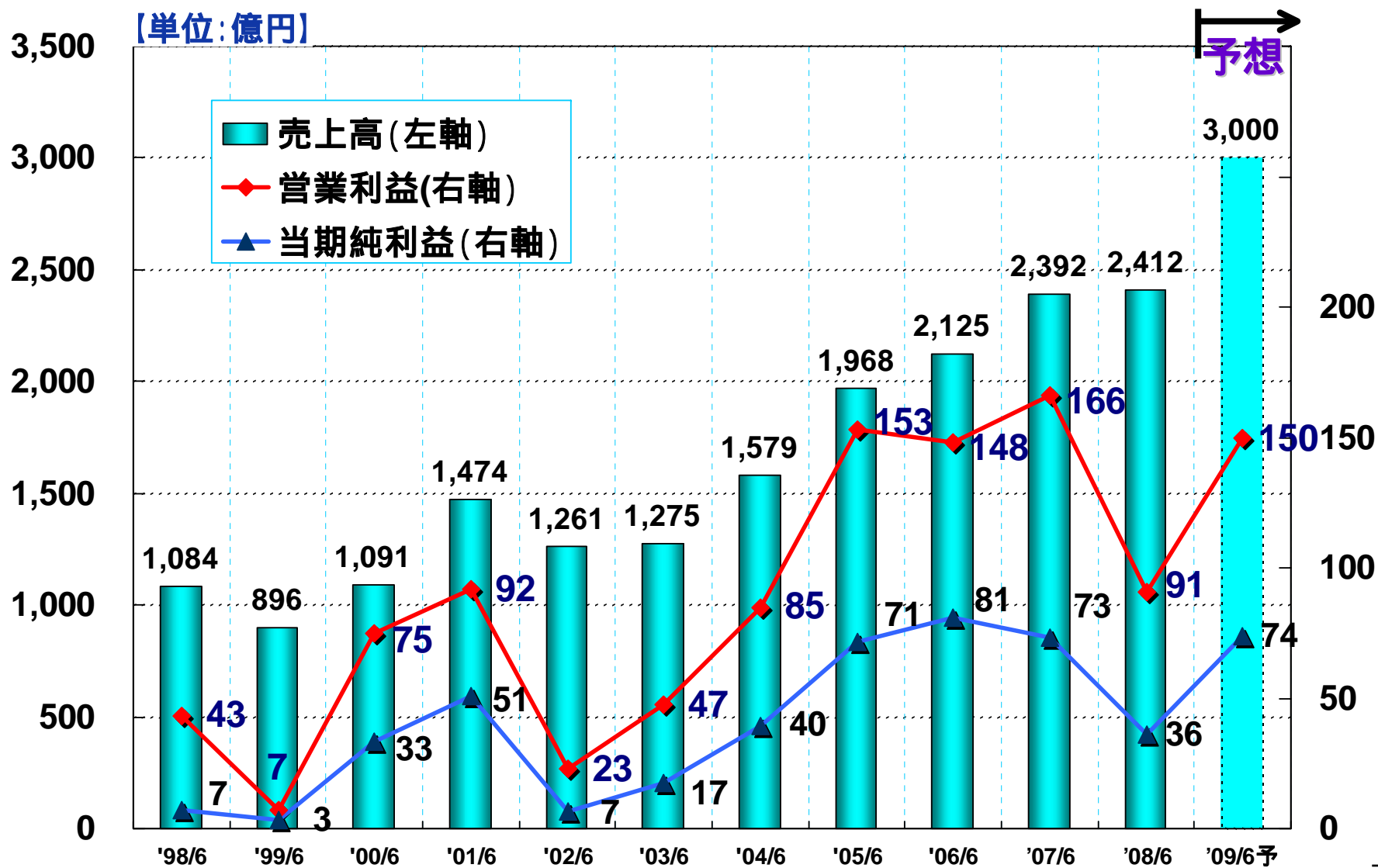
売上高	2,412
経常利益	51
当期純利益	36
純資産合計	919
従業員	6,356名

■ 売上高構成比(連結)



売上高と利益の推移・予想

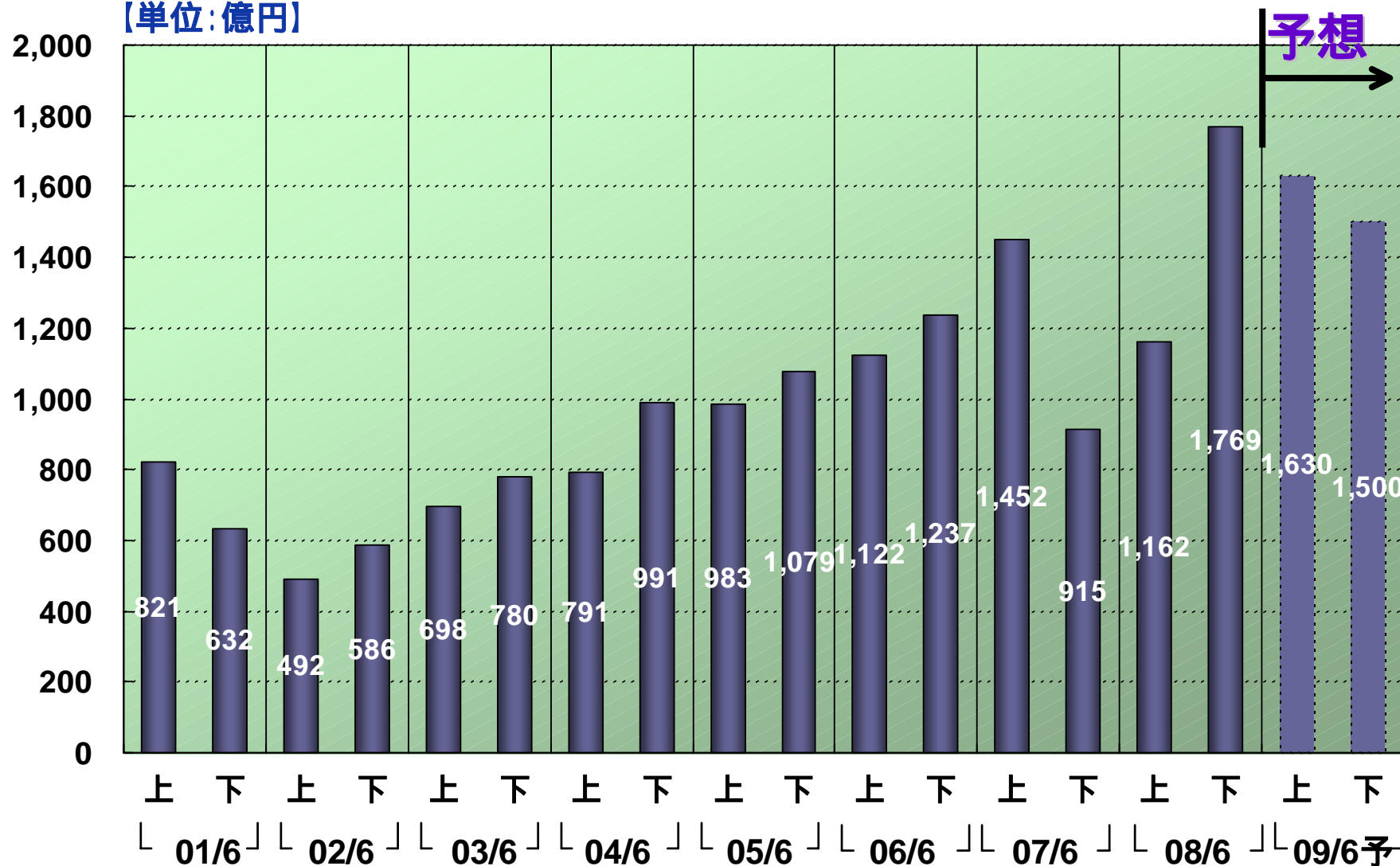
添付資料



受注高推移・予想

添付資料

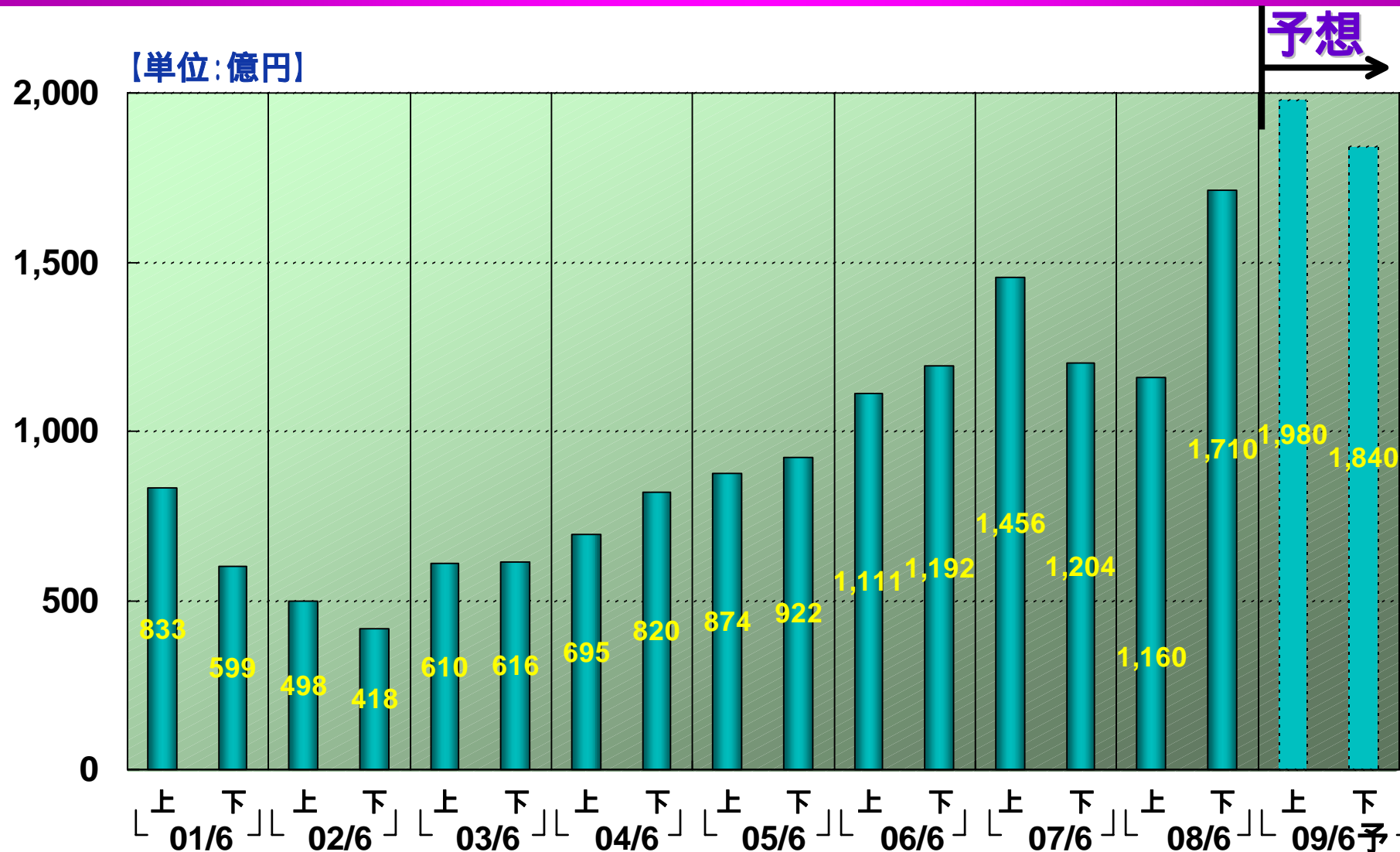
【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

受注残高推移・予想

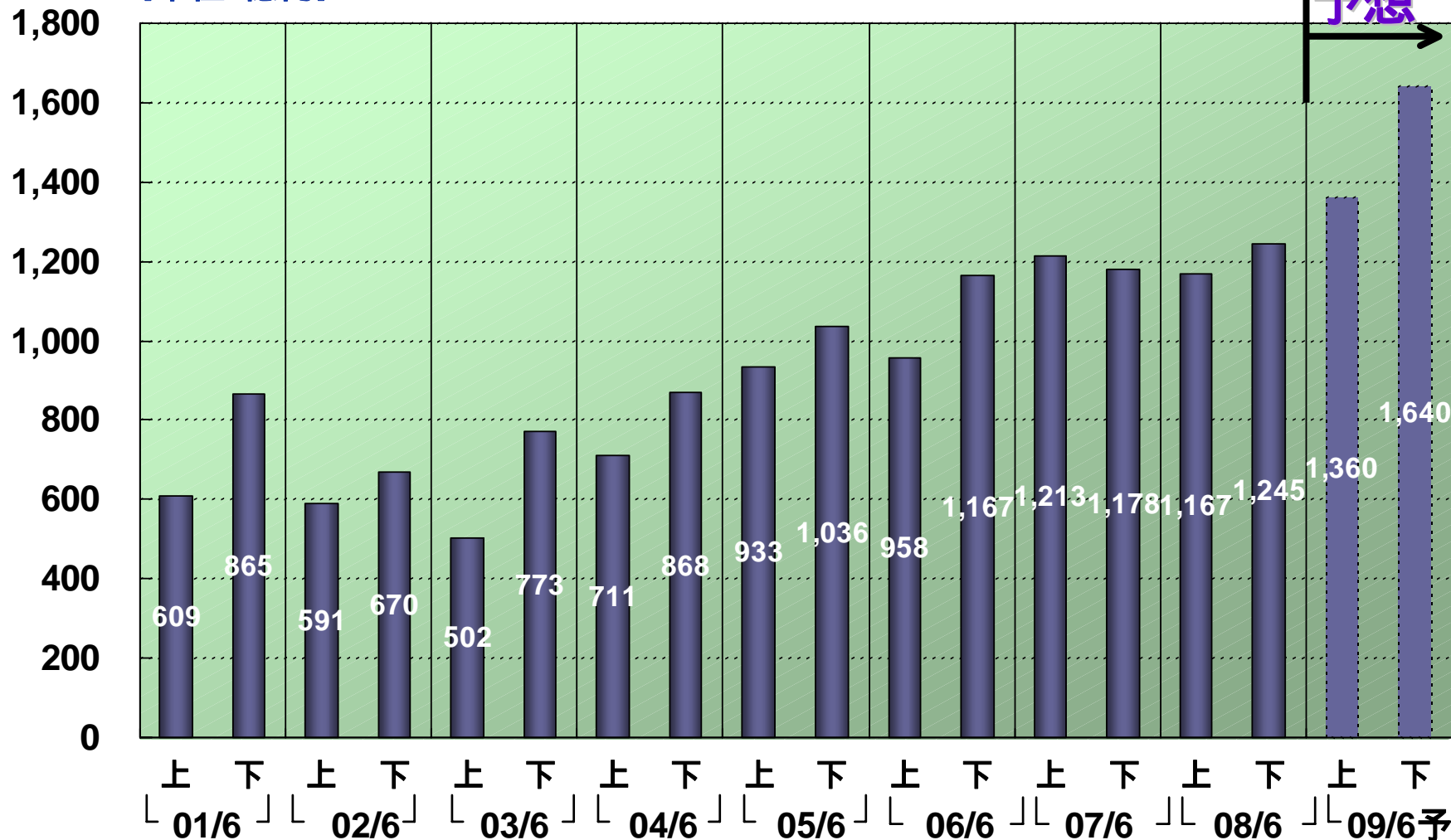
添付資料



【小数点以下は四捨五入】

売上高推移・予想

【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

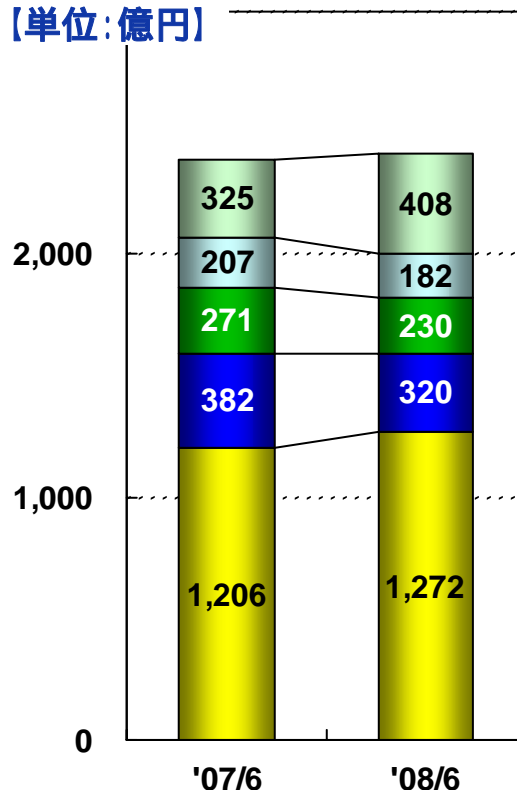
主な研究開発のテーマと成果

添付資料

	主な研究開発のテーマ	主な成果
ディスプレイ 及び電子部品 製造装置	液晶ディスプレイ (TV用大型基板、LTPS) 次世代ディスプレイ (有機EL、PDP、FEDなど) デジタル家電関連(高密度実装など) 太陽電池(薄膜、結晶系など)	8.5G以上カラーフィルタ基板対応イン ラインスパッタ装置の開発 薄膜太陽電池実証ライン稼動開始 次世代HDD用磁気ヘッド作製プロセス の開発
半導体製造装置	不揮発メモリ、メモリ他 パワー半導体(極薄ウエーハ) MEMS(微細電子部品)	LED用量産ドライエッチングの開発 300mmウエーハカーボンナノチューブ 成膜装置の開発
コンポーネント	エネルギー・環境、バイオ	真空対応型ERゲルの開発と半導体製 造装置用搬送装置への応用
その他	エネルギー・環境、 ナノテクノロジー	希土類永久磁石の大量生産装置の開発 カラーリフレクター用真空蒸着装置開発 メタリック不導体成膜用スパッタ装置開発 ハイブリッドカー向けフィルムコンデンサ装置開発
その他の事業	新規機能性材料 (ナノテクノロジー)、分析技術	液晶向けCu配線プロセスの開発 走査型サーマルプローブマイクロ イメージの開発

品目別売上高実績

【単位:億円】



注)
記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目	背景
その他の事業	FPD向けターゲット材料は上期伸び悩んだが、下期回復。自動車関連向け制御装置の計画延期などで減収。
その他	自動車関連向けや産業機器関連で客先の納入延期などの影響で減収。
コンポーネント	FPD関連の設備投資減速でドライポンプ減少。太陽電池関連の設備投資が拡大し真空ポンプなど伸長。
半導体製造装置	DRAM、フラッシュメモリ関連の設備投資延期で減収。
ディスプレイ及び電子部品製造装置	台湾、韓国で第6世代を中心に設備投資が堅調。プラズマ、次世代ディスプレイの設備投資は減少。薄膜太陽電池製造装置の売上が一部寄与。

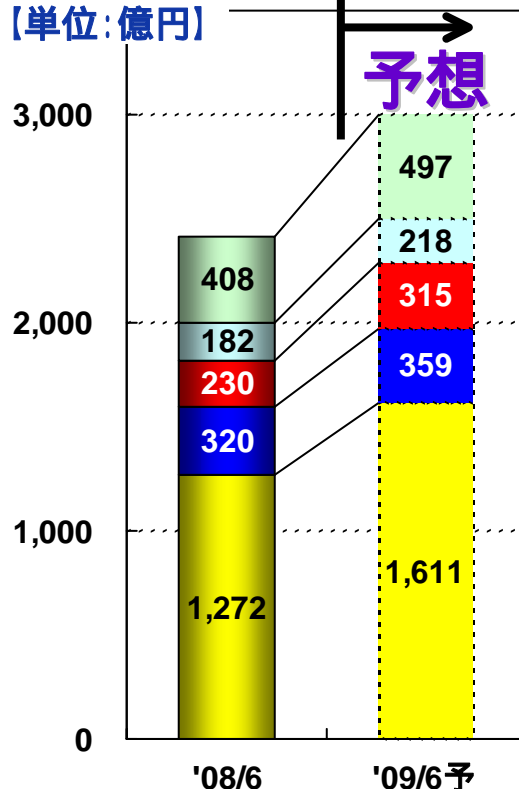
【単位:億円】

品目	07/6		08/6		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
真空関連事業 ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,206	50%	1,272	53%	5%
半導体製造装置	382	16%	320	13%	-16%
コンポーネント	271	11%	230	10%	-15%
その他	207	9%	182	7%	-12%
その他の事業	325	14%	408	17%	25%
合計	2,392	-	2,412	-	1%

品目別売上高実績・予想

添付資料

【単位：億円】



注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

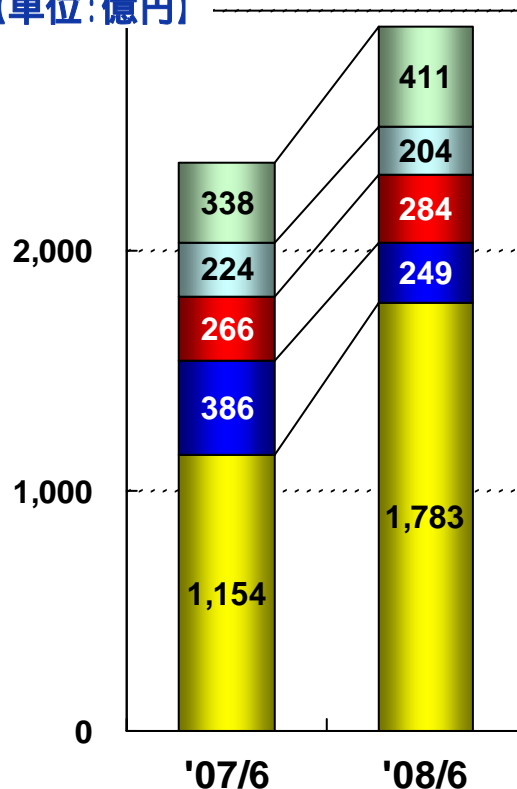
品目	背景
その他の事業	FPDの大型化と厚膜化、太陽電池関連のターゲット材などで増加を見込む
その他	エネルギー・環境関連やデジタル家電関連の需要増で真空炉や真空蒸着など成膜装置の増加を見込む
コンポーネント	FPD関連の設備投資再開でドライポンプを中心に増加を見込む。太陽電池関連のポンプや真空計などの増加を見込む。
半導体製造装置	DRAM、フラッシュメモリ関連の設備投資は低迷が継続。ハイブリッド・カー関連のパワー半導体やLEDなどが堅調に推移すると予想
ディスプレイ及び電子部品製造装置	大型液晶ディスプレイの設備投資が急拡大。薄膜太陽電池一貫ラインの大幅売上増を見込む。プラズマは減少。次世代ディスプレイはやや増加を見込む。

【単位：億円】

品目	08/6		09/6予		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,272	53%	1,611	54%	27%
半導体製造装置	320	13%	359	12%	12%
コンポーネント	230	10%	315	10%	37%
その他	182	7%	218	7%	20%
その他の事業	408	17%	497	17%	22%
合計	2,412	-	3,000	-	24%

品目別受注高実績

【単位:億円】



注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

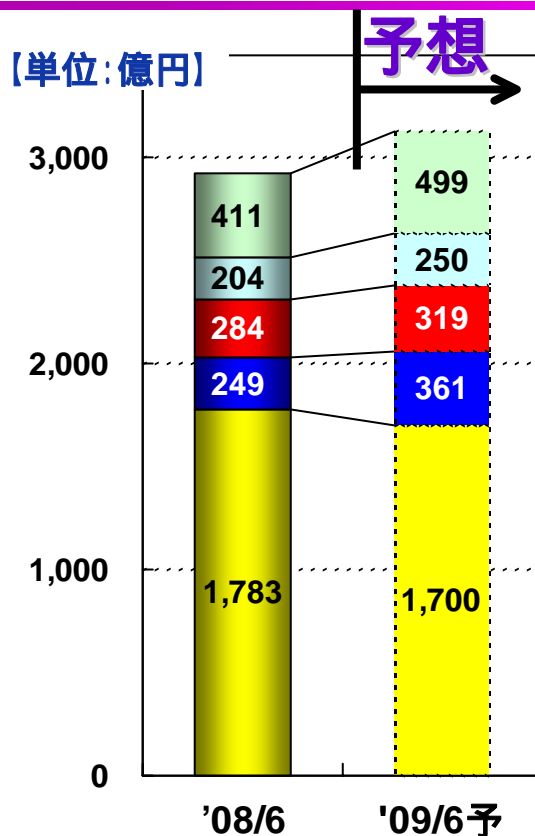
品目	背景
その他の事業	FPDの大型化でターゲット材増加。制御は、自動車や金属関連で堅調。
その他	エネルギー・環境関連の真空炉が中心。一部自動車関連の投資計画延期により減少。
コンポーネント	FPD向け設備投資は上期低迷。エネルギー・環境関連で太陽電池関連に真空ポンプ好調。
半導体製造装置	DRAM、フラッシュメモリ関連の設備投資計画の延期が相次ぎ、大幅に減少。
ディスプレイ及び電子部品製造装置	韓国、台湾の液晶メーカーで延期されていた設備投資が急回復。日本も大幅増。エネルギー・環境関連で、太陽電池市場の急成長で大幅増。

【単位:億円】

品目	07/6		08/6		
	受注高	構成比	受注高	構成比	増減率
真空関連事業 ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,154	49%	1,783	61%	54%
半導体製造装置	386	16%	249	8%	-36%
コンポーネント	266	11%	284	10%	7%
その他	224	10%	204	7%	-9%
その他の事業	338	14%	411	14%	22%
合計	2,368	-	2,931	-	24%

品目別受注高実績・予想

添付資料



注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目	背景
その他の事業	FPDの大型化、厚膜化や太陽電池関連などでターゲット材料の増加を見込む。
その他	エネルギー・環境やデジタル家電関連の需要増で真空炉、蒸着装置など増加を見込む。
コンポーネント	FPD関連の設備投資再開でドライポンプなどの増加を見込む。太陽電池関連のポンプや真空計など増加を見込む。
半導体製造装置	DRAM、フラッシュメモリ関連の一部投資が回復すると見込む。ハイブリッド・カー関連のパワー半導体、LED、不揮発メモリなどの設備投資が堅調。
ディスプレイ及び電子部品製造装置	韓国、台湾の液晶ディスプレイの設備投資は一巡。薄膜太陽電池一貫ラインを中心に大幅増を見込む。

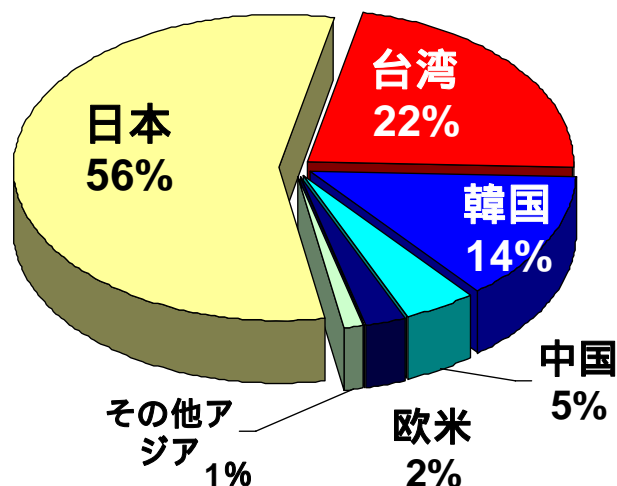
【単位: 億円】

品目	08/6		09/6予		
	受注高	構成比	受注高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,783	61%	1,700	54%	-5%
半導体製造装置	249	8%	361	12%	45%
コンポーネント	284	10%	319	10%	12%
その他	204	7%	250	8%	22%
その他の事業	411	14%	499	16%	21%
合計	2,931	-	3,130	-	7%

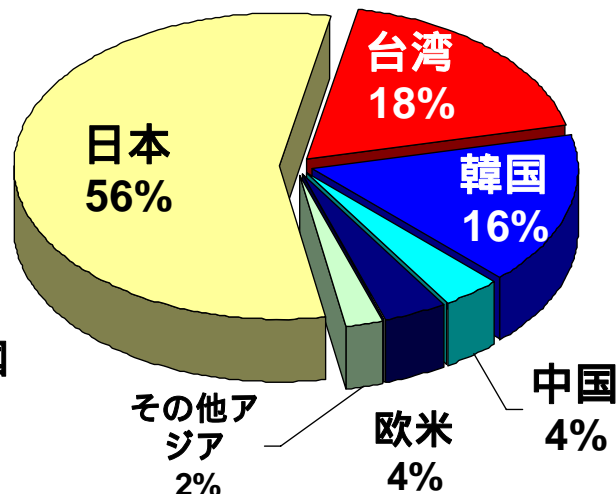
地域別売上高構成比の推移

添付資料

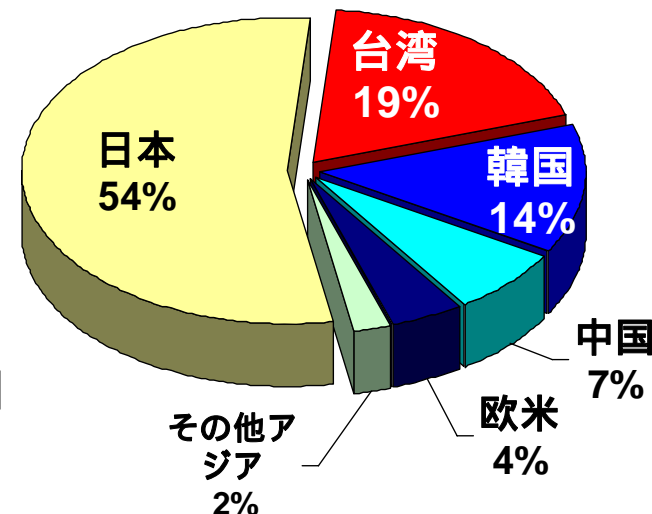
06/6期



07/6期



08/6期

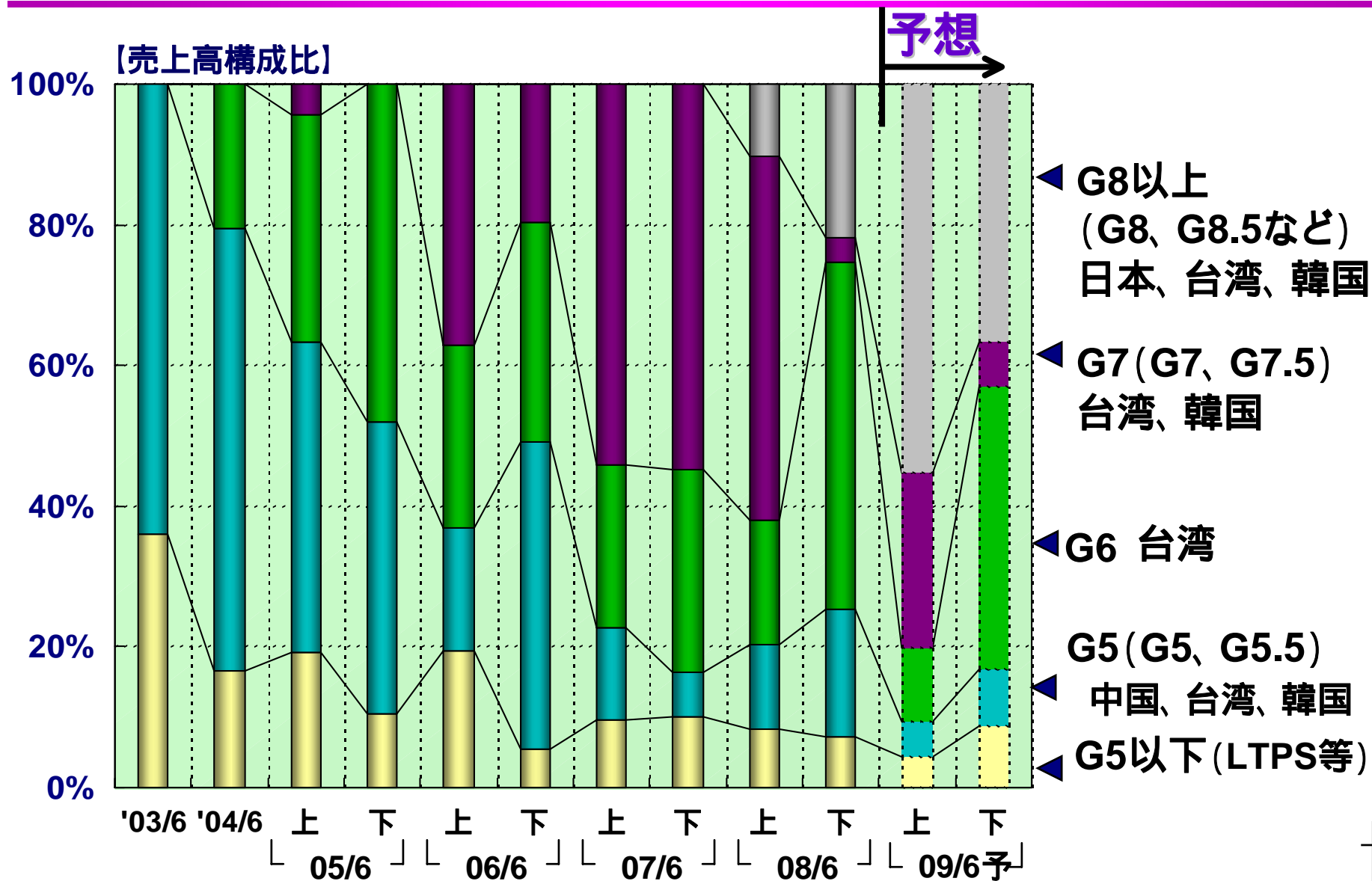


【単位: 億円】

	06/6	07/6	08/6
日本	1,189 (+23%)	1,334 (+12%)	1,307 (-2%)
台湾	473 (-21%)	442 (-7%)	451 (+2%)
韓国	292 (+26%)	379 (+30%)	326 (-14%)
中国	96 (+2%)	90 (-7%)	169(+89%)
その他アジア	26 (+23%)	51 (+95%)	56 (+9%)
欧米他	48 (-16%)	95 (+97%)	103 (+9%)
合計	2,125 (+8%)	2,392 (+13%)	2,412 (+1%)

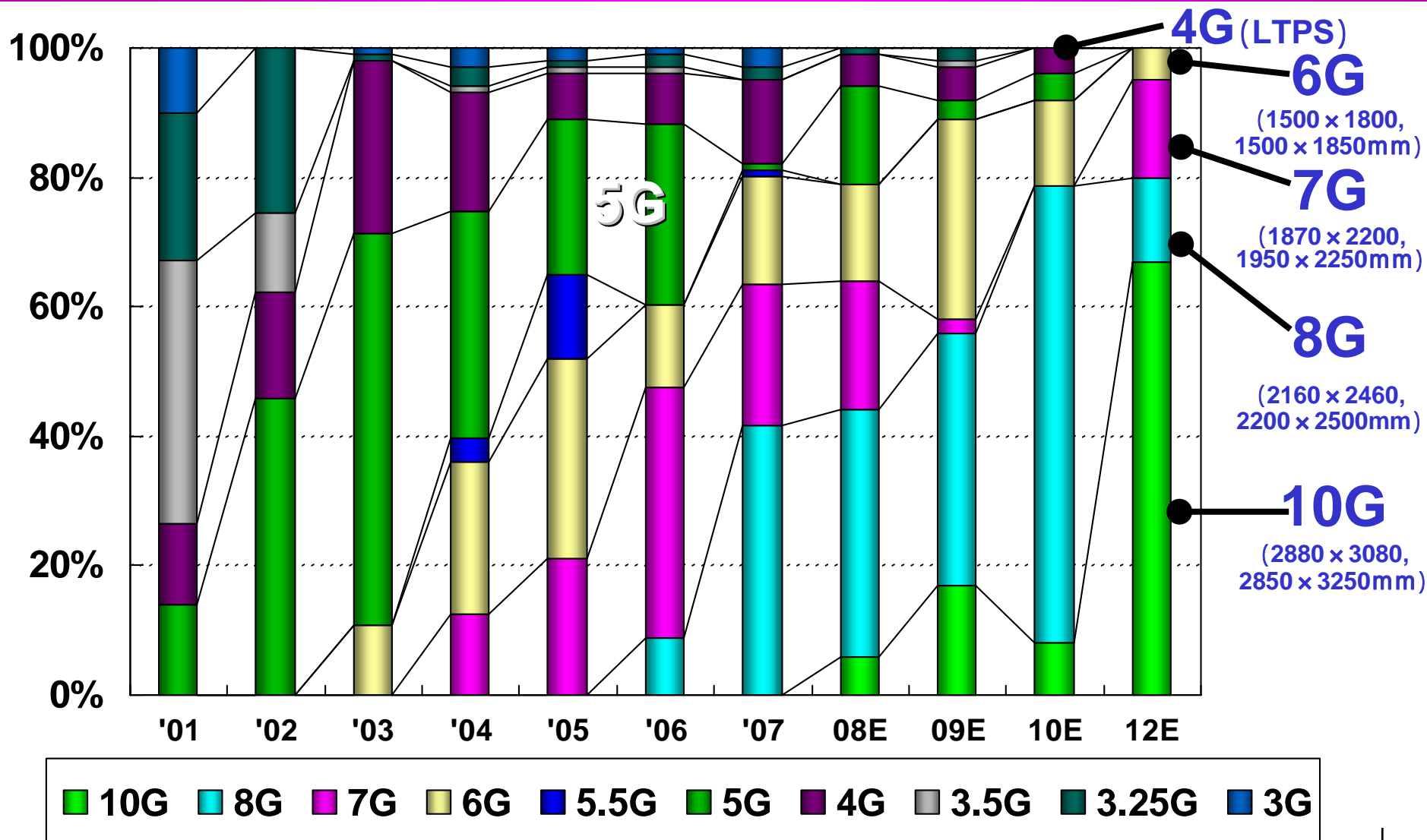
【()内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移



液晶ディスプレイ世代別投資

参考資料



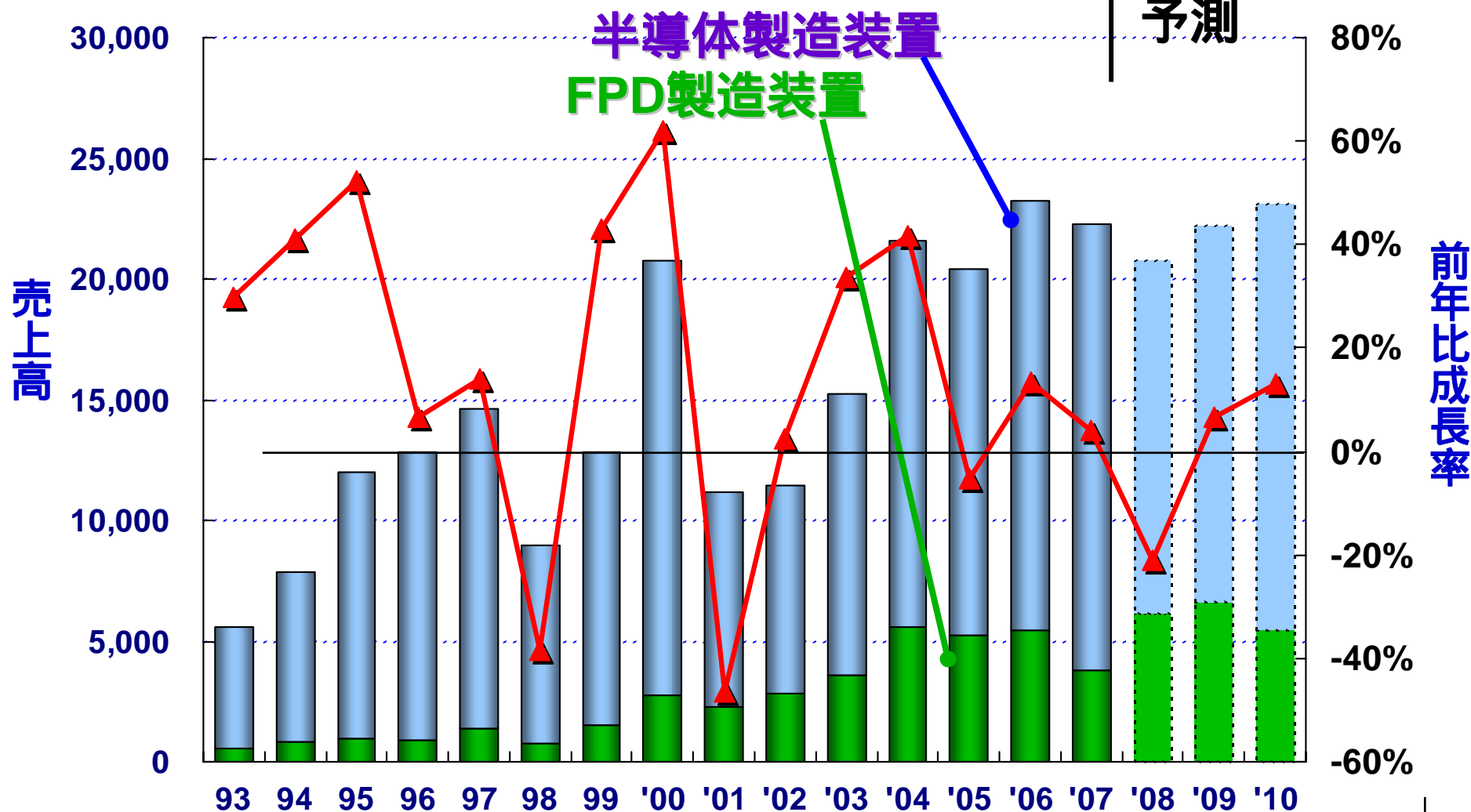
(出所:2008年7月
The 15th DisplaySearch Japan Forum)

半導体およびFPD製造装置予測

参考資料

[単位:億円]

< 日本製装置売上高予測 >



(出所:2008年7月 SEAJ)

(売上高:日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC